

令和8年度 産業廃棄物税充当事業（使途別）

No	事業名	部局	課・室・公所	新規・継続	充当額（千円）
【事業者支援】 6 事業					214,804
1	環境産業コーディネーター派遣事業	環境生活部	循環型社会推進課	継続	24,306
2	みやぎ産業廃棄物 3R等推進事業	環境生活部	循環型社会推進課	継続	136,413
3	フードバンク支援事業	保健福祉部	社会福祉課	継続	2,500
4	みやぎの食材バリューチェーン展開プロジェクト （食材王国みやぎ喜ばれる商品づくり支援事業）	農政部	食産業振興課	継続	6,075
5	サーキュラーエコノミー推進事業	環境生活部	循環型社会推進課	継続	29,040
6	家畜由来の堆肥活用促進事業	農政部	畜産課	継続	16,470

No	事業名	部局	課・室・公所	新規・継続	充当額（千円）
【試験研究】 3 事業					6,918
7	みやぎ由来の肥料増産加速化事業	農政部	みやぎ米推進課	継続	1,349
8	瓦などの廃材を活用したセリの新たな養液栽培システムの開発	農政部	農業振興課 （農業・園芸総合研究所）	継続	3,569
9	汚泥を原料とした肥料の利用方法確立	農政部	農業振興課 （農業・園芸総合研究所）	新規	2,000

No	事業名	部局	課・室・公所	新規・継続	充当額（千円）
【普及啓発・環境教育】 7 事業					20,233
10	循環型社会に貢献できる産業人材育成事業	教育庁	高校教育課（古川工業高校）	継続	2,534
11	循環型社会に貢献できる産業人材育成事業	教育庁	高校教育課（白石工業高校）	継続	2,113
12	循環型社会に貢献できる産業人材育成事業	教育庁	高校教育課（仙台二華高校）	継続	2,026

令和8年度 産業廃棄物税充当事業（使途別）

No	事業名	部局	課・室・公所	新規・継続	充当額（千円）
【普及啓発・環境教育】 7 事業					20,233
13	<u>みやぎ県民大学推進事業（循環型社会講座）</u>	教育庁	生涯学習課	継続	110
14	<u>みやぎの3R普及啓発事業</u>	環境生活部	循環型社会推進課	継続	12,619
15	<u>循環型社会に貢献できる産業人材育成事業</u>	教育庁	高校教育課（県農業高校）	継続	162
16	<u>循環型社会に貢献できる産業人材育成事業</u>	教育庁	高校教育課 （大河原産業高校）	新規	669

No	事業名	部局	課・室・公所	新規・継続	充当額（千円）
【適正処理】 14 事業					251,214
17	<u>アスベスト対策事業</u>	環境生活部	環境対策課	継続	3,783
18	<u>災害時大気環境モニタリング体制整備事業</u>	環境生活部	環境対策課	継続	9,195
19	<u>産業廃棄物不適正処理対策事業</u>	警察本部	生活環境課	継続	1,819
20	<u>P C B 廃棄物処理加速化事業</u>	環境生活部	廃棄物対策課	継続	3,207
21	<u>産業廃棄物処理業等管理システム導入事業</u>	環境生活部	廃棄物対策課	継続	2,479
22	<u>産業廃棄物不法投棄監視強化事業</u>	環境生活部	廃棄物対策課	継続	21,187
23	<u>産業廃棄物処理システム健全化促進事業</u>	環境生活部	廃棄物対策課	継続	9,022
24	<u>産業廃棄物適正処理監視指導員設置事業</u>	環境生活部	廃棄物対策課	継続	40,942
25	<u>産業廃棄物不適正処理対策交付金</u>	環境生活部	循環型社会推進課	継続	21,947
26	<u>産業廃棄物等処理実態調査事業</u>	環境生活部	循環型社会推進課	継続	4,301
27	<u>海岸漂着物等地域対策推進事業</u>	環境生活部	循環型社会推進課	継続	3,332
28	<u>産業廃棄物処理業イメージアップ推進事業</u> （産業廃棄物処理業と地域との共生等推進事業）	環境生活部	廃棄物対策課	継続	1,500
29	<u>産業廃棄物処理業者と連携した災害廃棄物処理体制構築推進事業</u>	環境生活部	廃棄物対策課	継続	3,500
30	<u>産業廃棄物最終処分場整備事業</u>	環境生活部	新最終処分場整備対策室	継続	125,000

合計 493,169

【No.1】環境産業コーディネーター派遣事業

事業目的

県内事業者による産業廃棄物の3R等の取組について、環境産業コーディネーターが伴走型支援を行うことにより、本県における産業廃棄物の再資源化や再生資源の利活用等の向上を図り、循環型社会の形成を推進する。

予算

R8年度当初予算額	24,306千円
R7年度決算額	23,567千円
R6年度決算額	21,885千円

令和8年度事業内容

環境産業コーディネーターは、民間企業において製造業等の工程管理や品質管理、環境管理等に携わった経験を有する者で、企業訪問を通して環境に関する必要な情報を提供しながら、企業の産業廃棄物の3R等に関する取組を支援する。

1 情報収集等

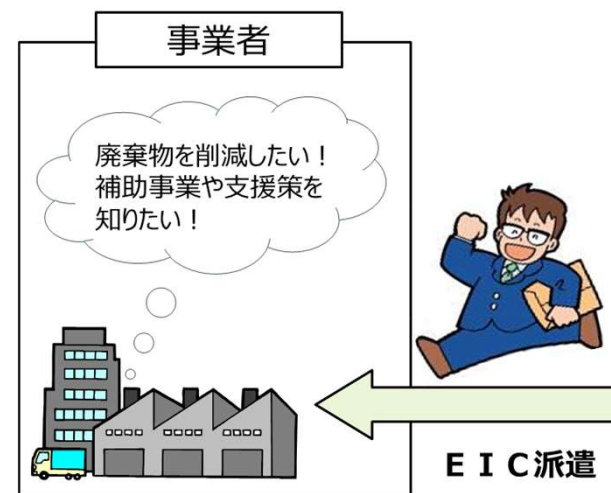
産業廃棄物の3R推進等に関する企業の課題やニーズを伺い、その改善や課題解決に向けて必要な助言、情報提供を行う。

2 マッチング支援（産産・産官・産学）

企業・行政・研究機関等における情報や技術、ニーズ等の橋渡しを行い、廃棄物の3R推進等の課題に取り組む活動を支援する。

3 エコフォーラム活動支援

複数の企業が連携することで、産業廃棄物の3R推進等の課題を解決できるように、その連携活動の立ち上げや課題解決への活動を支援する。



事業効果

企業訪問数（単位：件）

R6年度(実績)

R7年度(実績)

R8年度(計画)

539

545

600

担当部署

環境生活部 循環型社会推進課

TEL：022-211-3207

E-mail：junkanj@pref.miyagi.lg.jp

URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/r04eic.html>

【No.2】みやぎ産業廃棄物 3 R 等推進事業

事業目的

県内の事業活動における産業廃棄物の 3 R や適正処理、利活用等の取組を促進し、循環型社会の形成を推進する。

予算	
R8年度当初予算額	136,413千円
R7年度決算額	68,791千円
R6年度決算額	112,081千円

令和 8 年度事業内容

- みやぎ産業廃棄物 3 R 等推進事業**
 - 設備整備事業 …①**
産業廃棄物の 3 R 等に資する設備等の整備事業に要する経費の一部を補助する。
 - 循環ビジネス事業化支援事業 …②**
3 R 等技術・製品の事業化検討、研究開発、販売促進に要する経費の一部を補助する。
- 宮城県グリーン製品普及拡大事業 …③**
環境に配慮された製品を「宮城県グリーン製品」に認定し、普及啓発を図る。
- 産業廃棄物中間処理施設見学受入支援事業 …④**
産業廃棄物処理施設における見学受入等に向けた施設整備や備品購入に要する経費の一部を補助する。
- 最終処分場立地地域共生促進支援事業（みやぎの3R普及啓発事業から組替）…⑤**
最終処分場設置者が地域との共生を図るために実施する事業に要する経費の一部を補助する。
- 未利用食品活用推進事業（新規） …⑥**
県内食品製造業等において、産業廃棄物として処分される食品等がフードバンク団体等に寄付される仕組みを構築する。
- 循環計画進行管理費**
循環計画の進捗管理、課題整理を行う。



▲スライサー
(樹脂と裏布の剥離)



▲研修室の整備



▲宮城県グリーン製品認定マーク

事業効果		(単位：件)		
	指標	R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
①	補助事業者数	5	3	5
②	補助事業者数	7	5	4
③	認定製品数	108	110	112
④	補助事業者数	3	4	3
⑤	補助事業者数	3	2	2

担当部署	
環境生活部 循環型社会推進課	
TEL : 022-211-3207	E-mail : junkanj@pref.miyagi.lg.jp
URL :	
①② https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/3r-suishin-r7.html	
③ https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/green.html	
④ https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/kengaku-r7.html	
⑤ https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/tiikikyouseihojokin.html	
⑥ https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/foodloss.html	

【No.3】フードバンク支援事業

事業目的

生活困窮者自立支援制度では、食料支援に関する事業が制度化されておらず、これを補うものとして、フードバンク活動が有効であると考えられる。しかし、フードバンク活動は収益性のある取組ではなく、団体の多くは活動経費の確保に苦慮している。さらに、県内においては団体の活動区域に偏りが見られ、全域的な支援には至っていない現状がある。このため、活動経費の一部を補助することにより、団体の運営基盤の安定化を図るとともに、支援の手薄な地域における活動を促すことで、県内全域における食料支援体制の充実を目指す。

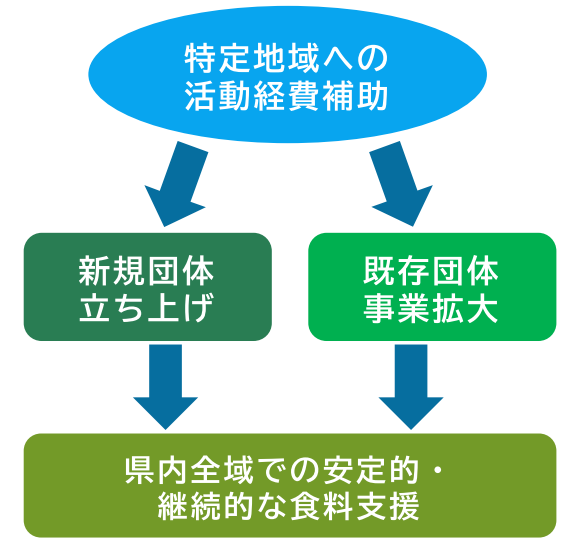
予算

R8年度当初予算額	2,500千円
R7年度決算額	1,224千円
R6年度決算額	1,020千円

令和8年度事業内容

特定地域※を対象とし、当該地域にて行った食料支援に係る経費（人件費、配送費、通信運搬費、備品購入費等）について補助を行うことで、当該地域における食料支援の活性化を図り、県内全域での安定的かつ継続的な食料支援の実施を目指すもの。

※これまで行ったフードバンク活動団体に対する補助事業の実績等から抽出した、県内の食料支援が十分に実施されていない地域



事業効果

＜補助金支援団体数＞（単位：団体）		
R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
事業未実施	4	5

担当部署

保健福祉部社会福祉課	
TEL：022-211-2517	E-mail： syahuks@pref.miyagi.lg.jp
URL： https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syahuku	

【No.4】みやぎの食材バリューチェーン展開プロジェクト（食材王国みやぎ選ばれる商品づくり事業）

事業目的

これまで生産、選別、調製過程で廃棄されていた農林水産物の食品ロスの削減や製造工程の歩留まりの向上、賞味期限の延長技術等に取り組む県内食料品製造業者に対して、商品開発に必要な経費の一部を補助することで、産業廃棄物等の削減を図るもの。

予算

R8年度当初予算額	6,075千円
R7年度決算額	9,196千円 (6,075千円繰越)
R6年度決算額	4,140千円

令和8年度事業内容

県内の食料品製造業者等が行う地域の食材等を活用した、産業廃棄物等の削減に資する商品開発等に係る経費の補助を行う。

（持続可能社会に向けた商品づくり事業）

- 1 補助限度額 3,000千円
- 2 補助率 1/2以内
- 3 補助対象経費の内容

謝 金	外部専門家への謝金など
旅 費	商品開発に必要なマーケティング活動費、交通費及び宿泊費など
研究開発費	原材料費（自社からの仕入分は除く）、分析費、機械リース料など
調査研究費	マーケティング活動に係るサンプル作成費、マーケティング委託費など
庁 費	事業実施に直接必要な会場費やマーケティングのための商談会参加費など

当事業で開発された商品の例

- (1) 自社で廃棄していた卵白を活用したホワイトプリン
- (2) 酒蔵に納入される酒米について必要ロット未満につき廃棄される酒米を利用した、酒米リゾットキット



事業効果

＜開発商品数＞（単位：個）

R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
16	15	4

担当部署

農政部食産業振興課

TEL：022-211-2812

E-mail：s-business@pref.miyagi.lg.jp

URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syokushin/>

【No.5】サーキュラーエコノミー推進事業

事業目的	予算						
持続可能な形で資源を循環利用する「サーキュラーエコノミー（循環経済（C E）」への転換に向けて、エコデザイン化支援、C E 型ビジネスの創出支援、地域循環資源活用等を推進する。地域におけるC E のリーディングモデル構築を支援し、横展開・C E の加速化も推進する。 ※ C E ：従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動	<table> <tr> <th>R8年度当初予算額</th><td>29,040千円</td></tr> <tr> <th>R7年度決算額</th><td>6,194千円</td></tr> <tr> <th>R6年度決算額</th><td>－千円</td></tr> </table>	R8年度当初予算額	29,040千円	R7年度決算額	6,194千円	R6年度決算額	－千円
R8年度当初予算額	29,040千円						
R7年度決算額	6,194千円						
R6年度決算額	－千円						

令和8年度事業内容	（１）エコデザイン化支援 ○易解体化、単一素材化、素材転換等により、廃棄物となりにくい製品づくりへの転換を目指す。 ○令和７年度は、サーキュラーデザインに関する情報収集と、バイオ由来・生分解性プラに関する物性評価等を実施。 （２）地域循環資源利活用研究会 ○未利用地域資源の利活用に向けた研究会を実施し、地域資源循環モデルの構築を目指す。 ○令和７年度は、利活用に適した地域資源の検討を実施（ペレット試作、物性評価など）。 （３）サーキュラーデザイン・リーディングモデル構築支援事業（新規） ○サーキュラーエコノミー型ビジネスの事業化に新規に取り組む ○リーディングモデルとなる事業に要する経費の一部を補助する。 ※(1)及び(2)は産業技術総合センターと連携し、実施。令和７～９年度の３年計画で実施予定。
-----------	--

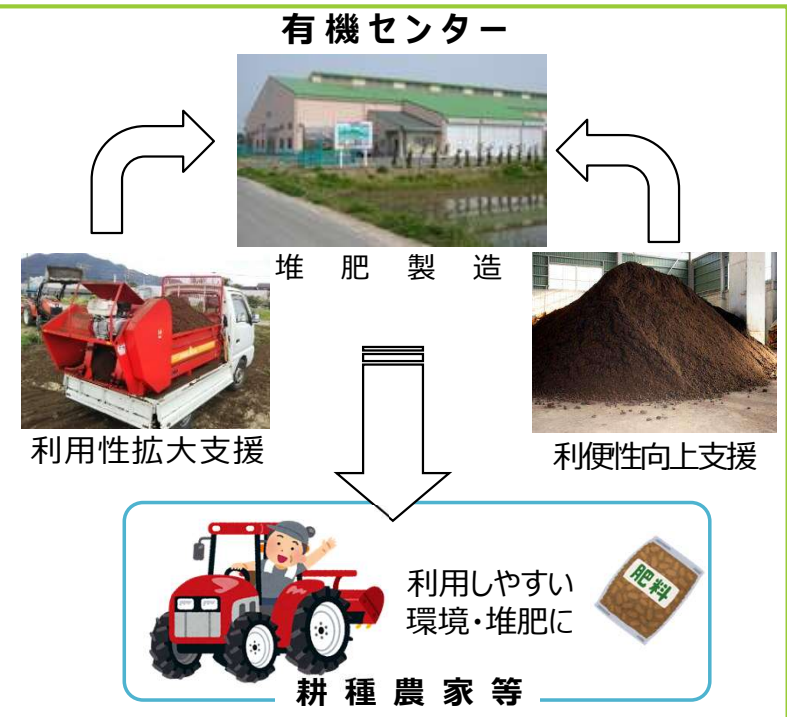
事業効果				担当部署	
	指標	R7年度実績	R8年度までの 目標値	環境生活部 循環型社会推進課	
(1)	支援事業者数（補助金）	-	2 社以上	TEL：022-211-3207	E-mail： junkanj@pref.miyagi.lg.jp
(2)	地域再生材利用製品の創 出・展示会等への出展	0	1 件以上	URL： https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/circular-economy.html	

【No.6】家畜由来の堆肥活用促進事業

事業目的	予算	
県内の市町や農業協同組合等により設置された24か所の有機センターで生産される高品質な堆肥の利用性や利便性の向上を図り、持続的生産体制の構築に向けた化学肥料低減や有機農業の拡大を推進する。	R8年度当初予算額	16,470千円
	R7年度決算額	10,479千円

令和 8 年度事業内容

有機センターの製品堆肥の利用性拡大を図るため、堆肥散布機や堆肥運搬車の導入経費の一部補助を行う。また、有機センターで家畜由来堆肥を使用した特殊肥料入り混合肥料を製造し、利便性向上を図る。	
(1) 利用性拡大支援	これまで機械等がないために有機センターの堆肥が利用できなかった耕種農家等への販売の拡大を図るため、堆肥散布機や堆肥運搬車等を導入経費の一部を補助する。
(2) 利便性向上支援	a - 指定混合肥料の製造に係る機械・設備への補助 特殊肥料入り指定混合肥料の製造、販売に係る機械の導入経費の一部を補助する。 b - 試験研究機関と連携・検討 指定混合肥料の混合割合や造形態等を実証検討し、耕種農家の利用しやすい混合肥料に改良する。



事業効果				担当部署	
県内有機センターの堆肥利用量及び混合肥料製造・販売の取組件数				農政部 畜産課	
	R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)	TEL : 022-211-2852	E-mail : tikusangf@pref.miyagi.lg.jp
堆肥利用量	－	32,883t	22,600t	URL : https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tikusanka/	
製造・販売数	－	1件	1件		

【No.7】みやぎ由来の肥料増産加速化事業

事業目的	予算
化学肥料の使用量や肥料コストの低減を図るため、地域未利用資源となっている県内の下水汚泥等の肥料原料としての品質や成分を明確にするとともに、下水汚泥等を原料とした肥料の製造に向けて、供給体制を整備するもの。	R8年度当初予算額
	1,349千円
	R7年度決算額
	366千円
	R6年度決算額
	185千円

令和 8 年度事業内容	
1 下水汚泥を原料とした肥料の製造に向けた取組 県内の下水汚泥を原料とした肥料試作品の評価 2 菌体りん酸肥料を原料とした指定混合肥料等の活用促進に向けた取組 (1) 試験場内及び現地ほ場における指定混合肥料等の施用効果の検証 (2) 先進地視察や検討会の開催による供給体制の整備	菌体りん酸肥料 下水汚泥 R6 検討 先進事例収集 サンプルの成分分析 農業者/JAヒアリング R7 場内試験古試 ポット試験古試 サンプルの成分分析 先進地視察 R8 普及展示ほ古試 施肥基準 場内試験古試、農園研 肥料化可能性評価 検討会の設置・開催

事業効果			担当部署	
県内の下水汚泥等未利用資源の削減量（単位：t/年）			農政部 みやぎ米推進課	
R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)	TEL：022-211-2845	E-mail： miyamai-kt@pref.miyagi.lg.jp
0	0	0	URL： https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noenkan/	

【No.8】瓦などの廃材を活用したセリの新たな養液栽培システムの開発

事業目的

地震災害による瓦のがれきや改築等で廃棄される屋根瓦等の廃棄物を利用し、宮城独自のセリ養液栽培システムの培地として再利用することで、省力・低コストな栽培方法として提案、セリブランドの強化・育成に資する。

予算

R8年度当初予算額	3,569千円
R7年度決算額	3,766千円
R6年度決算額	0千円

令和8年度事業内容

瓦等廃棄物のセリ養液栽培への再利用の検討

- 1 瓦チップ培地の大きさが生育・収量に及ぼす影響
セリ栽培に適した瓦チップの検討
- 2 電照利用による種セリ確保技術
種セリの確保技術を検討し、セリの周年栽培の実現を図る。
- 3 セリ養液栽培システムの現地実証
2か所の現地実証によりセリ養液栽培システムの導入拡大を図る。



瓦チップ培地での順調な萌芽



種ゼリ確保技術の検討

事業効果

(単位：件)

	指標	R7年度(実績)	R8年度(計画)	R9年度(計画)
①	セリ養液栽培システムの 現地導入数	2	2	4
②	セリ養液栽培システム 現地研修会の開催	1	2	3
③	セリ養液栽培 新規就農者数	1	2	3
④	瓦チップ使用量	1,800kg	2,000kg	2,500kg

担当部署

農政部農業振興課（農業・園芸総合研究所 露地園芸部）
TEL：022-211-2837
(022-383-8124) E-mail：marc-re@pref.miyagi.lg.jp
URL：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/index.html

【No.9】汚泥を原料とした肥料の利用方法確立

事業目的

県内では、令和6年に気仙沼の下水処理施設で国内初の1,000℃以上の高温で処理した炭化肥料製造施設が完成し、炭化肥料の製造量が増加すると考えられる。炭化肥料は、一般的にリン酸等の含有量が多く臭気も少ないため使い勝手は良いが、含有する肥料成分が植物にどれだけ吸収されるかは資材により異なり、不明な点が多い。

そこで、本課題では、汚泥炭化肥料を供試し、肥効等を分析、作物栽培試験を行い、肥料要素の性質について明らかにする。

予算

R8年度当初予算額	2,000千円
R7年度決算額	- 千円
R6年度決算額	- 千円

令和8年度事業内容

1 汚泥炭化肥料に含まれる肥料成分等の解析

県内で生産された汚泥炭化肥料などの可給態窒素（30℃ 4週間培養）、リン酸、カリ、カルシウム、マグネシウム、C/N比、亜鉛などを分析し、作物への施用量について検討する。

2 作物に対する汚泥炭化肥料の適切な施肥体系の検討

上記の汚泥炭化肥料などをコマツナに施用して（ポット試験）、生育、収量、養分吸収量、栽培跡地の土壌理化学性などを調査し、適切な施肥体系について検討する。



炭化肥料



分析機器



栽培試験

事業効果

汚泥炭化肥料の生産量（単位：トン）

R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
-	-	78

担当部署

農政部農業振興課（農業・園芸総合研究所 園芸環境部）

TEL : 022-211-2837
(022-383-8133)

E-mail : marc-ek@pref.miyagi.lg.jp

URL : https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/index.html

【No.10～12,15,16】循環型社会に貢献できる産業人材育成事業

事業目的	予算
産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。また、廃棄物の発生抑制やリサイクル産業の振興及び循環型社会の必要性について、専門高校生等として取り組むことのできる実践や基礎的研究を各関係団体からの支援を受け実践する。	R8年度当初予算額
	7,504千円
	R7年度決算額
	7,147千円
	R6年度決算額
	6,324千円

令和8年度事業内容	図・写真等
○産業廃棄物の再利用・有効活用を含めた循環型社会に貢献できる技術者・技能者養成 解体予定の木造建築物の解体木材を活用し、構造材再利用促進のための研究をとおり、循環型社会の形成に寄与できる人材の育成を図る。（古川工業高、白石工業高） ○東南アジアの廃棄物・水問題解決のための取組 汚物を処理できるバイオトイレの研究・開発やプラスチック容器などの廃棄物抑制に関わる研究等により、その成果を地域等に還元し、循環型社会の形成に寄与できる人材の育成を図る。（仙台二華高） ○食物残渣・野菜くずの堆肥化による持続可能型農業への取組 多くの食物残渣を処理し、堆肥として活用していくことによって、持続可能型農業の研究をとおり、循環型社会の形成に寄与できる人材の育成を図る。（農業高） ○木材加工で発生する木くずの有効活用による環境負荷を低減した循環型農業の実践 木くずをキノコ栽培の菌床に活用するとともに、農業用の生分解性マルチングシートを試作し、実用化に向けた実証実験に取り組むことで、循環型社会の形成に寄与できる人材の育成を図る。（大河原産業高）	 リサイクル施設の見学  木製玩具の製作

事業効果	担当部署
関連授業時数（単位：時間）	教育庁 高校教育課
R6年度(実績)	TEL：022-211-3625
R7年度(実績)	E-mail： ko-career@pref.miyagi.lg.jp
R8年度(計画)	URL： https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/car-top.html
5 6 7	
8 5 3	
9 5 0	

【No. 13】みやぎ県民大学推進事業（循環型社会講座）

事業目的

県民の多様な学習ニーズに応えるため、多様な学習機会を提供するみやぎ県民大学において、循環型社会講座を開講し、3 R・循環型社会の形成推進に関する県民の意識醸成を図り、循環型社会の形成を推進する。

予算

R8年度当初予算額	110千円
R7年度決算額	110千円
R6年度決算額	110千円

令和8年度事業内容

令和8年度は2件の循環型社会講座を行う予定。※R8.5月31日時点

- 1 東北大学大学院環境科学研究科「材料の機能で環境を守る」**
水の中で金属/合金ナノ材料を作る ～省資源と省エネルギー～
環境バイオテクノロジーの昔、今、そして未来予測
セラミックス材料で生体や環境を修復する
持続可能な未来を拓く新しい太陽光発電材料
- 2 東北大学金属材料研究所「持続可能な未来社会を創る材料の科学と技術」**
太陽電池用多結晶シリコンの結晶成長
蓄電池電極材料と次世代蓄電池の開発に向けて
超伝導と強磁場が拓く未来社会
磁性材料学：磁気的基础からスピントロニクスまで



事業効果

受講者数（単位：人）		
R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
29	67	70

担当部署

教育庁生涯学習課	
TEL：022-211-3652	E-mail： syogaki@pref.miyagi.lg.jp
URL： https://www.manabino-miyagi.com/	

【No.14】みやぎの3R普及啓発事業

事業目的

宮城県循環型社会形成推進計画（第3期：令和3年3月策定）に基づき、県民・事業者に向けた普及啓発を実施し、3Rに配慮した行動の定着を目指すもの。あわせて、プラスチック資源循環法（令和3年6月公布）及び食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針（令和2年3月閣議決定）等を踏まえ、廃プラスチックや食品ロスの削減に関する普及啓発を実施する。

予算

R8年度当初予算額	12,619千円
R7年度決算額	19,675千円
R6年度決算額	10,556千円

令和8年度事業内容

1 3R普及啓発プロモーション事業

①小学生向け教材の製作・配付

3R、食品ロス削減等に関する教材を県内小学生に配布し、家庭での実践を促す。

②幅広い層に向けた動画広告

SNSを活用したデジタル広報による普及啓発を行う。表示回数（インプレッション数）や動画の再生回数等による効果測定の結果を踏まえ、ターゲットの属性や年代に対し効果的な広報を行う。

2 広報事業 広報紙「みやぎ県政だより」への掲載やパンフレットを活用した普及啓発を行う。

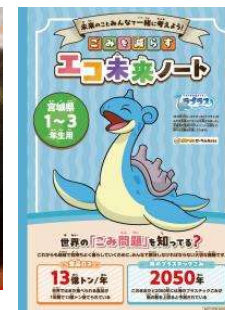
3 みやぎの3R・食品ロス削減推進事業 「みやぎ食品ロス削減協力店」など事業者や各種団体と連携し、3Rや食品ロス削減の実践を県民・事業者に促す。



▲食品ロス削減啓発動画



▲海洋プラスチックを使用した万華鏡作り
(石巻環境フェア2025)



▲小学生向け教材

事業効果

普及啓発動画の放送等回数

R6年度(実績)

85回

R7年度(実績)

50回

担当部署

環境生活部 循環型社会推進課

TEL : 022-211-2649

E-mail : junkanj@pref.miyagi.lg.jp

URL: <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/3rtop.html>

【No.17】アスベスト対策事業

事業目的

アスベスト含有建材を使用する建築物に係る違法解体工事をなくすため、関係機関が連携したパトロールを実施し、関係法令の遵守を指導、廃石綿等の廃棄物の適正処理を推進する。

また、特定粉じん排出等作業が行われる解体現場等周辺、被災地等でアスベストモニタリングを行い、アスベストの飛散状況を確認し、適正処理の状況把握等行う。

予算	
R8年度当初予算額	3,783千円
R7年度決算額	2,057千円
R6年度決算額	2,823千円

令和 8 年度事業内容

- 違法行為実態の把握**
 建設リサイクル法に基づく解体工事の届出等をもとに、大気汚染防止法、建設リサイクル法、労働安全衛生法を所管する関係機関が連携し、合同パトロール等を実施する。
- アスベストモニタリング**
 不適正なアスベスト作業による大気汚染状況を把握するため、解体現場等周辺及び一般環境、被災地等における大気中のアスベスト濃度を測定する。
- 普及啓発**
 解体工事における石綿飛散防止対策、廃石綿等の適正処理等の周知啓発のためのリーフレットを作成、配布する。

▼アスベスト繊維の濃度測定機材





▲普及啓発用リーフレット

事業効果

解体現場パトロール実施箇所数（単位：箇所）		
R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
160	215	※

※ 解体等現場件数に応じて対応

担当部署

環境生活部 環境対策課	
TEL：022-211-2665	E-mail： kantait@pref.miyagi.lg.jp
URL： https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/	

【No.18】災害時大気環境モニタリング体制整備事業

事業目的

大規模災害発生時に半壊及び一部損壊家屋、事業場等の解体に伴う産業廃棄物（以下「災害に伴う産業廃棄物」という。）の生活環境への影響を確認するため、大気環境測定車を用いて、発災直後の大気環境を測定し、その結果を公表するとともに、産業廃棄物の適正処理に係る指導に活用する。

予算

R8年度当初予算額	9,195千円
R7年度決算額	8,580千円
R6年度決算額	6,392千円

令和8年度事業内容

産業廃棄物処理施設周辺及び固定局未設置地域において、移動測定車による大気環境測定を実施する。また、固定局未設置地域における測定結果を公表し、周辺住民の不安解消を図る。

1 測定項目

常時監視項目として、**SO₂、NO_x、O_x、SPM、PM_{2.5}、CO、気象**
 ※災害発生時は、上記に追加して、有害大気汚染物質、ダイオキシン類、アスベストを測定する。

2 測定場所及び測定日数

測定場所	大崎市	多賀城市	七ヶ浜町	松島町
測定日数	9日	139日	75日	61日



▲大気環境測定車（あおぞら丸）

事業効果

移動測定車稼働日数（単位：日）

R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
251	296	284

担当部署

環境生活部 環境対策課

TEL：022-211-2665

E-mail：kantait@pref.miyagi.lg.jp

URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/>

【No.19】産業廃棄物不適正処理対策事業

事業目的

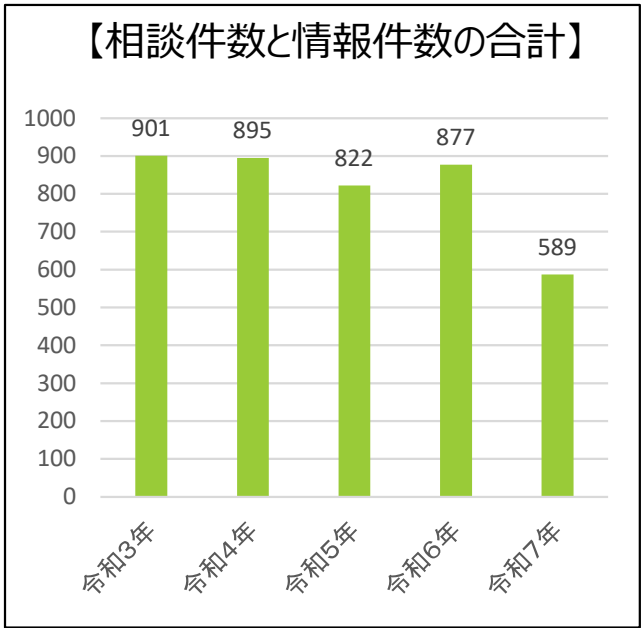
廃棄物の不適正処理（不法投棄等）事案について、各種届出、相談受理、事件日時等にタイムリーかつ効果的な対応を推進し、不適正処理事案の早期解決を図る。

予算

R 8 年度当初予算額	1,819千円
R 7 年度決算額	891千円
R 6 年度決算額	998千円

令和 8 年度事業内容

- 1 事案認知時におけるタイムリーな対応**
 警察で受理している相談等件数は減少したものの、検挙件数は大幅に増加しており、マンパワーでの対応に限界がある中、監視カメラ等の装備資機材の運用により効果的な監視活動及び捜査活動を行う。
- 2 事件検挙等による抑止効果**
 事案認知時において、装備資機材を活用したタイムリーかつ効果的な捜査を推進し、早期解決、検挙に結びつけることにより、社会に警鐘を鳴らすとともに、廃棄物の不適正処理を惹起する者の犯行抑止を図る。また、各種広報啓発活動を展開し、幅広い抑止活動を展開する。



事業効果

廃棄物処理法違反検挙状況（単位：件）		
R 6 年(実績)	R 7 年（実績）	R 8 年度(計画)
1 1 1	1 3 7	1 5 0

担当部署

宮城県警察本部 生活安全部 生活環境課	
TEL：022-221-7171	E-mail：
URL： https://www.police.pref.miyagi.jp	

【No.20】PCB廃棄物処理加速化事業

事業目的

P C B 廃棄物は法により処分の期限が定められており、県では期間内の全量処分に向けた各種取組を実施している。本事業においては、認識の無いまま P C B 使用製品等を保有している事業者の調査や、適正処理が困難と認められる低濃度 P C B 廃棄物保管事業者への支援を通じ、P C B 廃棄物の処理の加速化を図ることを目的としている。

予算

R8年度当初予算額	3,207千円
R7年度決算額	1,199千円
R6年度決算額	1,831千円

令和 8 年度事業内容

法人の解散等により、やむを得ず低濃度 P C B 廃棄物を保管している個人に対し、処理費用又は P C B 含有有無の分析費用の助成を行う。

(1)低濃度PCB廃棄物処理事業支援事業補助金

法人の解散等により低濃度PCB廃棄物を保管することとなった個人または実質的に廃業状態にある法人に対し、処理費（運搬費＋処分費）の95%を補助する。

(2)低濃度PCB廃棄物分析費用補助事業補助金

法人の解散等により低濃度PCB廃棄物を保管することとなった個人または実質的に廃業状態にある法人に対し、当該廃棄物を処理するために必要となるPCB含有分析の費用について、その50%を補助する。



低濃度PCB廃棄物

事業効果

低濃度 P C B 廃棄物の処理困難者の処理済率（単位：％）

R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
87	80	93

担当部署

環境生活部廃棄物対策課

TEL：022-211-2463

E-mail：haitaig@pref.miyagi.lg.jp

URL：<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/haitai/index.html>

【No.21】産業廃棄物処理業等管理システム導入事業

事業目的

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び使用済自動車の再資源化等に関する法律に基づき許可された、許可・登録業者及び施設をデータベース化し、システムを構築することで、許可・登録事務の効率化や関係機関の情報共有を進め、廃棄物の適正処理化を図るもの。

予算

R8年度当初予算額	2,479千円
R7年度決算額	2,002千円
R6年度決算額	1,958千円

令和8年度事業内容

1 処理事業者の許可・登録事務

産業廃棄物処理業者等管理システムを用いて新規・更新・変更等の許可事務を効率的に実施する。

2 産業廃棄物処理業者等管理システム操作研修会

新たに廃棄物業務に携わる職員に対し、当該システムの操作方法等の研修会を実施する。

3 システムの保守・修正

法律の改正や使用者からの要望への対応、より効率的・合理的なシステムにするための修正等を委託により実施する。



産業廃棄物処理業者等管理システム
操作研修会

事業効果

データベース化した産業廃棄物処理業者等（単位：件）

R6年度(実績)

R7年度(実績)

R8年度(計画)

6,455

6,639

6,800

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL : 022-211-2648

E-mail : haitais@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/haitai/index.html>

【No.22】産業廃棄物不法投棄監視強化事業

事業目的

不適正処理・不法投棄事案の早期把握、拡大防止を図るため、従来の不法投棄対策に加え、監視強化を中心とした各種取組みを進めることにより、不適正処理・不法投棄の根絶を目指す。また、県民一人一人の廃棄物の適正処理に関する意識を一層高めるため、不法投棄防止に係る普及啓発事業を実施する。

予算

R8年度当初予算額	21,187千円
R7年度決算額	21,844千円
R6年度決算額	12,086千円

令和8年度事業内容

【事業内容】

(1) 普及啓発事業

- ①不法投棄防止啓発WEB広告掲載事業
- ②不法投棄防止啓発用資材作成

(2) 監視強化事業

- ①監視カメラ・ドローンによる不法投棄監視

(3) 違反行為に対する迅速・厳格な対応

- ①不適正処理に対する委託業務

廃棄物分析業務、測量業務、環境への支障状況等調査業務、重機開削業務
産廃ガードマンによる巡回パトロール、民間ヘリコプターによるスカイパトロール



廃棄物分析業務
における試料採取の
様子



普及啓発Web公告
(YouTube公告)
※R6、R7事業

事業効果

＜県内10t以上の大規模な不法投棄・不適正処理事案の産業廃棄物残存量＞
(単位：t)

R6年度(実績)

R7年度(実績)

R8年度(計画)

66,044

R8調査予定

未定

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL : 022-211-2467

E-mail : haitaif@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/life/fuhotoki/index.html>

【No.23】産業廃棄物処理システム健全化促進事業

事業目的

排出事業者等の適正処理に向けた普及啓発を目的とした講習会の開催や産業廃棄物処理実績報告の公表など、処理業者や排出事業者がそれぞれの処理責任を果たすことができる健全な処理システムを構築することで、産業廃棄物の適正処理を推進し、県民の廃棄物処理への信頼性を高めること。

令和 8 年度事業内容

1. 排出事業者や処理業者に対して、廃棄物処理の先進事例や処理ルールの説明等の講習会等を開催し、廃棄物の適正処理に向けた普及啓発を行う
2. 事業者による報告を事業者自らが入力又は提出できる電子報告システム「みやぎ産廃報告ネット」を利用し、産業廃棄物処理業者からの処理実績報告及び多量排出事業者からの処理計画書を求め、ホームページでの公表を行う
3. 電子マニフェストの普及促進のため、電子マニフェスト講習会を開催する
4. 不適正処理事案の発生抑制及び拡大防止を図るため、各保健所の指導の一環として廃棄物処理業者を対象に講習会を実施する

事業効果

実績報告の電子報告率、講習会等開催数・参加者数			
	R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
電子報告率	79.3%	79.0%	79.5%
開催数・参加者数	7回・673名	12回・745名	12回・800名

予算	
R8年度当初予算額	9,022千円
R7年度決算額	6,549千円
R6年度決算額	12,698千円

電子マニフェストとは、産業廃棄物を運送する際に使用する「マニフェスト」を電子化したものです。排出事業者、処理業者、自治体間の連携を促進し、廃棄物の適正処理を確保します。

電子マニフェスト利用のメリット

- ① 業務効率化とコスト削減
- ② 廃棄物の追跡と管理の徹底
- ③ 排出事業者と処理業者の連携強化
- ④ 自治体との連携強化

みやぎ産廃報告ネットとは、排出事業者が処理業者からの処理実績報告や多量排出事業者からの処理計画書を、インターネット上で提出できるシステムです。

みやぎ産廃報告ネットのメリット

- ① 報告の簡便化とコスト削減
- ② 処理業者からの報告の即時確認
- ③ 自治体との連携強化

電子マニフェストの普及促進のため、電子マニフェスト講習会を開催します。

不適正処理事案の発生抑制及び拡大防止を図るため、各保健所の指導の一環として廃棄物処理業者を対象に講習会を実施します。

排出事業者のみなさまへ

目の前のゴミがなくなればそれで『終わり』と思いませんか。

産業廃棄物の処理には、排出事業者と処理業者の連携が不可欠です。排出事業者は、処理業者からの報告を正確に提出し、処理業者は、排出事業者からの報告を正確に処理する必要があります。

排出事業者のみなさまへ、産業廃棄物の処理には、排出事業者と処理業者の連携が不可欠です。排出事業者は、処理業者からの報告を正確に提出し、処理業者は、排出事業者からの報告を正確に処理する必要があります。

リーフレットを用いた普及啓発

担当部署

環境生活部廃棄物対策課	
TEL : 022-211-2463	E-mail : haitaig@pref.miyagi.lg.jp
URL : 廃棄物対策課 - 宮城県公式ウェブサイト (pref.miyagi.jp)	

【事業No.24】産業廃棄物適正処理監視指導員設置事業

事業目的

各保健所及び支所に産業廃棄物適正処理監視指導員（以下「産廃Gメン」という。）を設置することにより、本県における「産業廃棄物の不法投棄、野焼き等の不適正処理の未然防止」、「早期発見及び不適正処理に対する迅速かつ適切な指導」を行い、産業廃棄物の適正処理を推進する。

予算

R8年度当初予算額	40,942千円
R7年度決算額	42,739千円
R6年度決算額	37,895千円

令和8年度事業内容

産廃Gメンは、産業廃棄物の不法投棄、野焼き等の不適正処理の未然防止、早期発見及び不適正処理に対する迅速かつ適切な指導を行っております。

平成24年度まで各保健所に合計12名配置していたが、一層の監視強化のために、平成25年度から3増員し、令和2年度からは2名増員し、令和5年度から1名増員して、現在18名体制

【業務内容】

- ① 不法投棄、野焼き等の不適正処理の監視パトロール
- ② 産業廃棄物処理業者への立入調査
- ③ 不法投棄、不適正処理等の事案に係る調査・指導



産廃Gメンによるパトロール

事業効果

＜県内10t以上の大規模な不法投棄・不適正処理事案の産業廃棄物残存量＞
(単位：t)

R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
66,044	R8調査予定	未定

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL：022-211-2467

E-mail：haitaif@pref.miyagi.lg.jp

URL：
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hitai/hutai-04.html#sanpai-gmen>

【No.25】産業廃棄物不適正処理対策交付金

事業目的

廃棄物処理法上、政令指定都市は県と同等の権限を有しており、仙台市内の産業廃棄物の適正な処理の促進に関する事業については、仙台市が実施することになるため、不法投棄等不適正処理の根絶に向けた監視活動にかかる経費として、交付金を交付するもの。

予算

R8年度当初予算額	21,947千円
R7年度決算額	20,547千円
R6年度決算額	21,752千円

令和8年度事業内容

1 不適正処理監視事業

不適正処理の監視強化及び抑制を図る。

- ・監視カメラの維持及び管理
- ・産廃Gメンの配備
- ・パトロール車の維持及び管理
- ・民間委託による休日等パトロールの実施等
- ・低濃度PCB 廃棄物訪問調査 等



- ◀ 産廃Gメンによる
パトロールの様子（左）
市内に設置している
監視カメラ（右）

2 不適正処理防止啓発事業

広く一般市民に対して、廃棄物問題への関心と適正処理に対する関心を高めるための情報提供等を行う。

- ・周知啓発物の作成
- ・講演会の開催
- ・啓発交通広告の掲出



- ▲ 啓発交通広告
(仙台市営地下鉄自由通路)

事業効果

仙台市内で新たに発覚した 10t 以上の不法投棄件数、投棄量（単位：件、トン）

R6年度(実績)

R7年度(実績)

R8年度(計画)

0 件、0 トン

0 件、0 トン

0 件、0 トン

担当部署

環境生活部 循環型社会推進課

TEL : 022-211-3207

E-mail : junkanj@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/>

【No.26】産業廃棄物等処理実態調査事業

事業目的

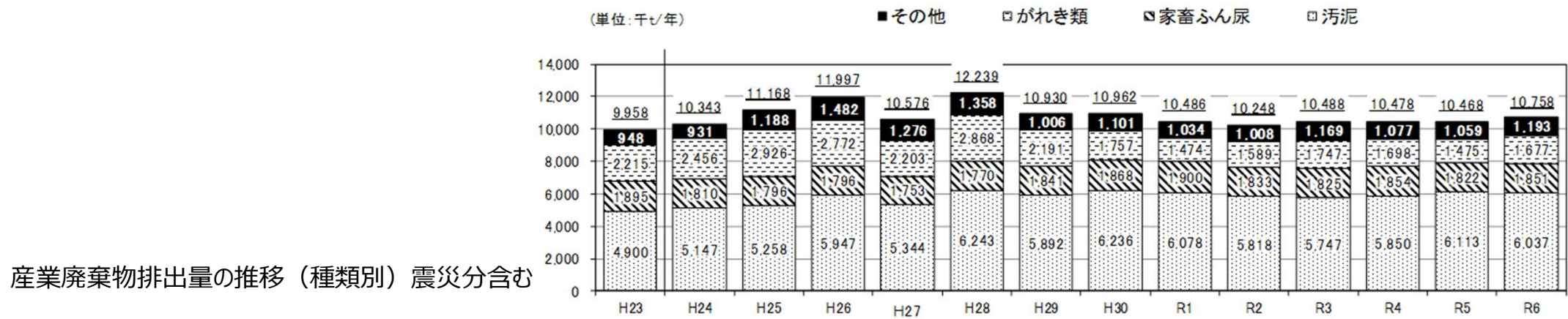
宮城県循環型社会形成推進計画の進行管理や産業廃棄物税の導入効果の検証を行うため、産業廃棄物の排出・処理状況等について経年的・継続的に把握するもの。

予算

R8年度当初予算額	4,301千円
R7年度決算額	3,080千円
R6年度決算額	2,486千円

令和 8 年度事業内容

令和 5 年度に実施した大規模調査を補完するアンケート調査及び各種統計資料の調査等の実施の他、循環計画中間見直しにより追加予定の管理指標（物質フロー）の進捗確認の調査業務を行う。



事業効果

産業廃棄物排出量推計値（単位：千t）		
R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(実績)
10,478	10,468	10,758

担当部署

環境生活部 循環型社会推進課	
TEL : 022-211-2649	E-mail : junkanr@pref.miyagi.lg.jp
URL : https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/sanpai-index.html	

【No.27】海岸漂着物等地域対策推進事業

事業目的	予算
宮城県内の海岸の良好な景観及び環境を保全するとともに、今後の海岸漂着物等の発生抑制対策を行うことにより、現在及び将来の県民の生活と生産活動を支えるための環境整備を推進する。	R8年度当初予算額
	3,332千円
	R7年度決算額
	3,017千円
	R6年度決算額
	2,282千円

令和 8 年度事業内容

- 1 宮城県内海岸の漂着ごみ組成調査

今後の宮城県の海岸漂着物対策の推進に向け、海岸漂着ごみのモニタリング調査を行い、基礎情報を集めるとともに、経年変化を把握する。
- 2 スポGOMI等実施業務

ごみ拾いをスポーツ競技として発展させた「スポGOMI」を通して、参加者が身近な環境課題に楽しく取り組む機会を提供し、持続可能な社会の実現に向けた行動変容を促す。併せて、環境教育の効果向上と内容の充実を図るため、ボランティア団体等との連携により普及啓発イベントを開催する。



事業効果	担当部署
海岸漂着物等組成調査結果	環境生活部 循環型社会推進課
R5年度(実績) 512個・2177L・350kg	TEL : 022-211-2649
R6年度(実績) 700個・2016L・454kg	E-mail : junkanr@pref.miyagi.lg.jp
R7年度(実績) 876個・2263L・320kg	URL : https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/kaiganhyouchaku.html

【No.28】産業廃棄物処理業イメージアップ推進事業

事業目的

産業廃棄物処理業は、地域を支える重要なインフラ産業である一方、一部の不適正処理事案などによって、同業種に対する一般の理解が進んでいるとはいえない状況にある。そこで、産業廃棄物処理業者からなる団体による、業界のイメージアップのための自主的な取組を促すことにより、同業種に対する県民理解の向上と同業界全体の振興を図り、もって県内における産業廃棄物のさらなる処理体制・能力の確保と、適正処理や3Rの推進を通じた循環型社会の実現を目指す。

予算

R 8 年度当初予算額	1,500千円
R 7 年度決算額	950千円
R 6 年度決算額	1,255千円

令和 8 年度事業内容

産業廃棄物処理業者の関係団体が、業界のイメージアップに向けて次のような取組を行う場合に、その費用の一部を補助するもの。（補助率 1 / 2）

- (1) 産業廃棄物処理業界全体の資質向上に関する、労働安全衛生や働き方改革等の講習会の開催
- (2) 県民に対する産業廃棄物処理業の理解促進・イメージアップ・普及啓発のための環境学習教室、環境イベント等の開催。また、その実施に必要な啓発資材等の作成
- (3) 地域貢献活動としてのボランティア活動
- (4) その他産業廃棄物処理業界のイメージアップに資する活動として知事が必要と認める事業



事業効果

補助対象となる取組の件数（単位：件）

R6年度(実績)	R7年度(実績)	R8年度(計画)
5	6	未定

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL : 022-211-2463

E-mail : haitaig@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hitai/shido/hojojigyo/r7imageup.html>

【No.29】産業廃棄物処理業者と連携した災害廃棄物処理体制構築推進事業

事業目的

大規模災害時に発生する膨大な量の災害廃棄物を円滑に処理するため、技術的知見を有する民間の産業廃棄物処理業者との積極的な連携と活用を図る体制を構築する。
また、地域ごとの産業廃棄物処理業者の処理可能量を市町村に展開し、市町村の災害廃棄物処理体制の構築を支援する。

予算

R8年度当初予算額	3,500千円
R7年度決算額	1,320千円
R6年度決算額	1,232千円

令和8年度事業内容

- ◆令和7年度に当該事業で作成した、県内産業廃棄物処分業者の処理可能な災害廃棄物の種類及び量の調査するための調査票を活用し、県内産業廃棄物処分業者を対象にアンケート調査を行い、とりまとめを行う。
- ◆アンケート調査データを活用し、市町村ごとの災害廃棄物発生量と産業廃棄物処理業者による災害廃棄物処理可能量をマッチングさせた「災害廃棄物処理プラン」を作成する。



▲東日本大震災 災害廃棄物処理の様子

事業効果

調査対象事業者（単位：者）

R6年度(実績)

71者

R7年度(実績)

71者

R8年度(計画)

210者

担当部署

環境生活部 廃棄物対策課

TEL : 022-211-2648

E-mail : haitais@pref.miyagi.lg.jp

URL : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/haitai/index.html>

【No.30】産業廃棄物最終処分場整備事業

事業目的

県内の産業廃棄物処理を安定的に行い、環境負荷の少ない経済活動を持続させるため、公共関与による新たな産業廃棄物最終処分場を整備することを目的に、整備主体である公益財団法人宮城県環境事業公社に対して整備費用の一部を財政支援するもの。

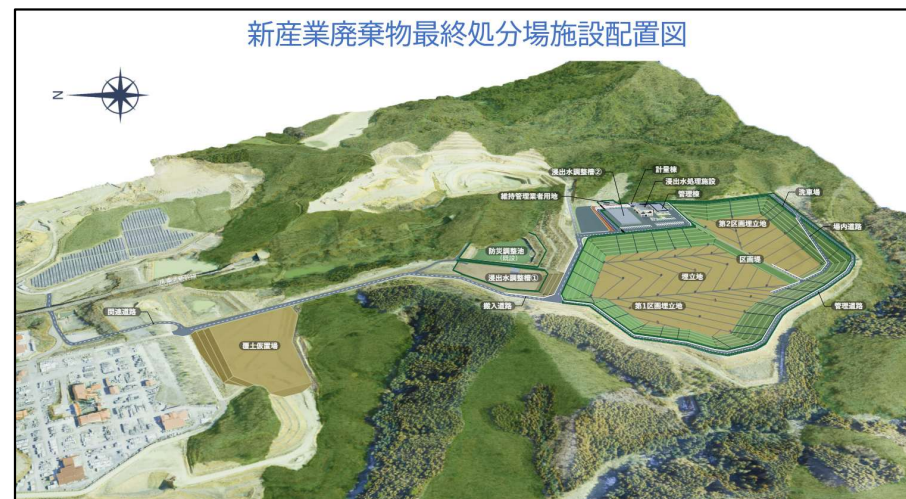
予算

R8年度当初予算額	125,000千円
R7年度決算額(繰越)	125,000千円
R6年度決算額(繰越)	131,445千円

令和8年度事業内容

◆宮城県産業廃棄物最終処分場整備対策事業費補助金 1,000,000千円

公益財団法人宮城県環境事業公社が取り組む
管理型産業廃棄物最終処分場整備に要する費用への助成



事業効果

県内で新たに発覚した不法投棄件数

R 5 年度（実績）	R 6 年度（実績）	R 7 年度（実績）
1	1	1

担当部署

環境生活部 新最終処分場整備対策室

TEL : 022-211-3165

E-mail : saisyuse@pref.miyagi.lg.jp

URL : http://www.miya-kan.or.jp/jigyo_naiyo/seibi/